

令和7年度当初予算の主な事業

ライフステージごとの主な事業

乳幼児期

新規

1 か月児健康診査事業 424万円
5 歳児健康診査事業 539万円

疾病の早期発見・早期治療の促進や、虐待の予防などのため、1 か月児に対する健康診査を実施します。また、成長・発達の課題などの早期発見・早期対応のため、5 歳児に対する健康診査を実施し、出産後から就学前までの切れ目のない支援を行います。

拡大

認可保育所等保育士確保事業 1956万円

認可保育所などの保育士の確保と離職を防止し、質の高い保育の提供と、より多くのこどもを保育施設で受け入れるため、市内在住の保育士に対する家賃助成の対象となる保育施設を拡大するとともに、短時間勤務保育士の雇用支援を行い、保育士の採用支援や職場環境の改善に取り組みます。

児童少年期

拡大

子ども医療費支給事業 6億3188万円

こどもたちの健康を守るため、子ども医療費の助成について、中学生の入院・通院費の自己負担分を令和7年10月から無料とし、助成内容を拡充します。

拡大

中学校部活動の地域移行事業 4649万円

生徒が多様なスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、休日の中学校部活動を地域主体の活動である地域クラブ活動へ移行する試行学校を1校から3校に拡大します。

継続

小中学校学習環境 ICT 整備事業 6億3425万円

ICT 技術を活用し、より分かりやすく考えが深まる授業を実現するとともに、児童生徒の情報活用能力を育成し、学習環境の充実を図るため、タブレット端末や大型掲示装置をはじめとする機器や学習ソフトなどの更新・導入を進めます。

継続

まどかぴあ図書館システム更新事業 3519万円

まどかぴあ図書館利用者などの利便性の向上および蔵書管理の効率化を図るため、セルフ貸出機の導入や学校図書館、コミュニティセンターでのまどかぴあ図書館図書を受取・返却サービスなどを可能とするシステムを導入します。

青壮年期

新規

小中学校給食無償化事業 4億9410万円

小中学生のいる子育て世帯の経済的負担を軽減するため、小学校給食および中学校ランチ給食などを無償化するとともに、中学校のランチ給食などを注文しない生徒や私学などの児童生徒の保護者に対して、給食食材費相当分の補助を行います。

継続

新型コロナウイルス感染症 任意予防接種費用助成事業 148万円

重症化リスクの高い人の任意予防接種の経済的負担を軽減するため、心臓・腎臓・呼吸器・ヒト免疫不全ウイルスによる免疫のいずれかの機能に日常生活活動が極度に制限される程度の障がいのある60歳未満の市民を対象に、任意で予防接種を受ける場合の費用を助成します。

新規

乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度） 1239万円

保護者の就労などの有無を問わず、全ての子育て家庭に対する支援を強化するため、保育所などに通っていない0歳6か月から満3歳未満までのこどもを対象に、基準を満たした施設において、月一定時間までの受け入れを行います。

